

磐田市 磐田市の未来のために 自治会連合会だより

回覧

vol.36

支え合う自治会を目指して

新型コロナウイルス感染症の影響で、4月18日(土)に予定していた令和2年度自治会連合会総会は中止しました。そのため、新自治会長には委任状を提出していただき、4月23日(木)に自治会連合会三役出席のもと総会を開催しました。

本来であれば、新自治会長が一堂に会して「連合会の方針」や「自治会長の役割」を確認するのですが、その機会をつくるのが難しく、新自治会長の皆さまには、新型コロナウイルス感染症に係る自治会行事の対応等で大変ご苦勞をお掛けしました。

一日も早く日常生活が送れることを強く願いながら、これからの自治会に求められ、期待されていることを、伝えさせていただきます。

安全・安心なまちづくり

安全・安心なまちづくりは、自治会活動の基本です。自治会連合会は、次の4点を重点に推進しています。

- ①子どもたちの登下校の安全確保
- ②振り込め詐欺の被害者にならない
- ③高齢者が交通事故の加害者及び被害者にならない
- ④災害発生時に被害を最小限に抑えられるように日常から備える

上記の活動内容は、地域により異なると思います。

それぞれの地域で諸先輩方が培ってきた「支えあい」「思いやりの心」の積み重ねが地域力です。その地域力が、住みやすい地域の実現に繋がります。そのためには、その地域に住む一人ひとりの心がけ・行動が必要です。

犯罪にあわない、犯罪者を出さない、交通事故が少ない、子育て・教育が安全にできる、健全な若者が育つ。そんな地域の実現を目指しています。

地域づくり協議会の設立

私たちの課題は、人口減少に伴い社会構造が変化する中、地域の支えあい・思いやりの心で成り立っている自治会活動を今後どのように進化させていくかということです。そこで、単位自治会では対応が困難な諸課題を解決することなどを目的に、各地域に「地域づくり協議会」が設置されて次の目的を持って活動をしています。

- ①地域活動の企画と運営
- ②自治会長の負担軽減
- ③地域活動の効果的・効率的な運営
- ④地域活動参加者の協力体制構築

ご自身が生活している地域の課題は何か、その課題を解決するためにどうしたらよいか、そこで生活する住民が自ら考え、行動することができるのが「地域づくり協議会」です。災害に対する減災対策は？ 犯罪に対する地域での活動は？ これからの福祉活動は地域でどのように対応すべきか？ 等々、課題は山積しています。地域で、できることから協議・実行し、安全・安心な地域を築いていただきたいと思います。

最後に、急激に時代が変化する中で「女性の地域活動への参加」と「情報伝達方法の工夫」が、これからの地域活動の鍵を握ると思います。地域に住む多くの人が協力できる範囲で地域活動に関わることで、未来の磐田が創られます。子供や孫の世代に自分たちはどんな地域を残したいのか、考えて行動していきましょう。

磐田市自治会連合会長

村上 勇夫

Isao Murakami

1940年長野県長野市出身
1963年河合楽器製作所入社
2000年同社定年退職
在職中は、名古屋、東京、松本、金沢、群馬、埼玉等で汗を流した転勤族。
定年退職後は、地域安全推進委員、少年補導員を経験しながら、自治会活動に関係する知識を習得し、2004年(旧豊田町)森下自治会長に就任。
くらしの防犯伝導士、ふじのくに災害ボランティアコーディネーター、乙種防火管理者等の資格取得や経験が、現在の自治会活動に役立っている。
健康を保つ秘訣は「毎日規則正しく生活すること」。
夢は、磐田市が子どもたちの笑顔で溢れること。



磐田市自治会連合会 facebook

様々な情報をお伝えしています！
いいね！ よろしくお願ひします。



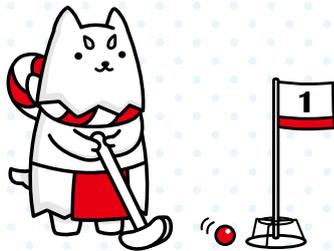
各地域の取りまとめ役

磐田支部

大変な年度明けとなりました。新型コロナウイルス感染症の拡大は日常生活や経済活動等、かつてない打撃となっています。地域防災も感染症防止対策と合わせて考えなくてはなりません。

高齢少子化に加え、定年延長の広がりです。自治会役員の選出に苦勞するのは各地区共通の問題であり、役員の負担軽減が必要です。一方で地域づくり協議会活動の推進で地域に求められることが大きくなっていますが、これはとりもなおさず「住民主体のまちづくり」とも言えます。

磐田支部としても自治会活動への認識をより高めて頂き、安全・安心で心豊かな暮らしを皆さまと共に進めていきたいと思ひます。支部長初心者、ご指導ご協力をよろしくお願いいたします。



磐田支部長
玉田 文江



見付地区長
小杉 泰久



中泉地区長
大場 雅行



天竜地区長
長谷川 幸雄



大藤地区長
安達 憲幸



田原地区長
鈴木 通



今之浦地区長
寺田 和芳



長野地区長
古山 晴海



於保地区長
青山 行雄



岩田地区長
鈴木 正康



向笠地区長
三浦 靖男



西貝地区長
磯部 知明



南御厨地区長
藤原 孝一



御厨地区長
寺岡 剛裕

豊田支部

今年は新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」といいます）の感染・拡大のため、国内外で多くの尊い命が奪われ、同時に世界経済も瀕死の状態であります。

また、我々の自治会活動もクラスターを考えると全く前進しません。でも今はコロナの収束に市民一丸となって如何に戦うかです。そのためにまずコロナの怖さを知り万全の備えを徹底することです。その備えとして、三密を避け・手洗い・マスクの着用は必須条件です。

そして皆さんと協力の下、コロナ後は未来に向かって心躍る明るい街が待っています。それは昨年の御厨駅に続き、新文化会館の建設他沢山あります。

これからも更なるご協力をお願いします。



豊田支部長
島岡 信生



青城地区長
大澤 房男



豊田東地区長
菊池 武光



井通地区長
小橋 俊男



池田地区長
工藤 裕二



富岡地区長
山田 正行

福田支部

新型コロナウイルス感染症問題は、自治会連合会はもとより、単位自治会や地域づくり協議会の活動にも大きな影響を及ぼしています。総会が縮小され、講演会や会議、諸行事が中止・延期になり、外出もままならない現在、地域や住民の元気が失われています。この新型コロナウイルス感染症が収束するには1年以上かかるという説もあります。自粛や規制も徐々に解除されてくるとは思いますが、感染症予防は引き続き継続していかなければなりません。地域活動もしばらく縮小せざるを得ないのが実情です。福田支部ではこの期間を活用し、真の地域力を養うため、組織の強化や在り方についてじっくり検討したいと考えています。



福田支部長
杉浦 聖



豊浜地区長
内野 稔



西部地区長
大橋 幸生



福田南地区長
星野 秀次郎



福田中地区長
加藤 均



北部地区長
大庭 政志

竜洋支部

現在、自治会連合会と地域づくり協議会は別組織で成り立ち活動しています。しかしながら、両組織共に、地域の住民によって成り立っている協力団体です。

そこで、地域づくり協議会の中にほかの団体を組み込んでいくという考え方で活動をしています。高齢化による担い手不足等の社会環境に対応していくためにも、協議会の中に各部会を設定し地域の活動に取り組むことにより、地域の活性化を図りたいと思います。



竜洋支部長
藤田 允



竜洋西地区長
吉野 博行



竜洋東地区長
高橋 英博



竜洋北地区長
村上 賢

豊岡支部

令和2年度の始まりは、新型コロナウイルス感染症の影響から、自治会や地域では総会の開催に苦慮し、様々な活動の中止・延期を余儀なくされるなど、不安を抱えてのスタートになりました。

今こそ、自治会運営や地域活動において、みんなで知恵を出し合い、工夫して地域の一体感、地域力が発揮されるときかと思えます。豊岡支部では、地域づくり協議会と連携を図りながら、住民同士の「支え合いと絆」の大切さ・必要性を共有して一体となって取り組んで参ります。

住民のみなさん、共に力を合わせて頑張りましょう！



豊岡支部長
深田 研典



豊岡北地区長
青野 博美



豊岡南地区長
石川 好三



豊岡東地区長
山下 恭史

令和2年度総会報告

平成31年度（令和元年度）事業報告・収支決算

4月23日（木）に自治会連合会三役にて総会を開催しました。平成31年度（令和元年度）事業報告・決算、規約の改正、新役員、令和2年度の事業計画・予算等はすべて承認されました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、新自治会長には委任状を提出していただいたの開催となりました。



平成31年度（令和元年度）収支決算

収入		支出	
費目	決算額（円）	費目	決算額（円）
会費	1,700,000	会議費	639,335
交付金	7,542,000	事務費	2,600,342
負担金	1,909,880	視察研修費	1,195,113
前年度繰越金	1,455,062	事業活動費	3,859,418
雑収入	38	支部研修費	2,077,262
合計	12,606,980	負担金	342,000
		予備費	10,000
		合計	10,723,470

差引残額 1,883,510円は翌年度に繰り越す。

令和2年度事業計画・収支予算

以下の5つの基本方針に沿って、4つの事業に取り組みます。

- ①安全・安心の住み良いまちづくりの取り組みを推進する
- ②次世代に自信を持って引き継げる単位自治会の強化を図る
- ③交流センターを核とした地域づくり協議会を定着させ、地域住民主体のまちづくりを推進する
- ④防災、防犯、交通安全、福祉、子ども若者健全育成、多文化共生、男女共同参画に関する施策を展開する
- ⑤行政・関係機関・団体との連携を図り地域力の向上を目指す

令和2年度収支決算

収入		支出	
費目	予算額（円）	費目	予算額（円）
会費	1,695,000	会議費	650,000
交付金	7,549,000	事務費	3,236,000
負担金	660,000	視察研修費	1,050,000
前年度繰越金	1,883,510	事業活動費	5,200,000
雑収入	0	支部研修費	250,000
合計	11,787,510	負担金	400,000
		予備費	1,001,510
		合計	11,787,510

各支部会計を連合会会計へ一本化したため、支部助成費が減額となり、支部研修費が新たな項目として追加されました。

地域力向上への取り組み事業

自治会連合会だよりの発行、SNSによる情報発信、各種研修会の開催など

防災、減災に向けた取り組み事業

家庭防災の日による自助の推進、消防署や消防団等と連携した取り組みなど

防犯への取り組み事業

青色回転灯装備車など防犯パトロールの実施、振り込め詐欺被害撲滅に向けた取り組みなど

交通安全への取り組み事業

ピカッと作戦（早めのライト点灯と自発光式反射材の着用）の推進、子ども・高齢者の交通事故防止に向けた取り組みなど

新型コロナウイルス感染症から自分とみんなの命を守るために

新しい生活様式の実践例《静岡県実施方針抜粋》

- 人の間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 遊びにいくなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用する。
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手は30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う。（手指消毒薬の使用も可）



感染症に関する言葉を覚えよう!!

- パンデミック → 世界的大流行
- クラスター → 集団感染
- 三密 → 密閉、密集、密接
- WHO → 世界保健機関
- テレワーク → 時間や場所の制約を受けずに柔軟に働く形態

磐田市イメージキャラクター
しゅんぽん ©磐田市

【令和2年7月17日発行】

発行：磐田市自治会連合会 編集：磐田市自治会連合会 総務部会
連絡先

磐田市自治会連合会事務局〈地域づくり応援課〉
TEL (0538) 37-4811 <http://www.iwatashi-jichikai.jp>